

令和 7 年度予算重点施策



令和 6 年 10 月

市川市長

基本的な考え方

本市では、明るく風通しの良い職場環境をつくるため、第三者で構成されるコンプライアンス委員会議の立ち上げに加え、全職員へのアンケート調査の実施など、綱紀粛正、不祥事の再発防止に努めてまいります。

また、市民のために、「市民目線」、「現場主義」を常日頃より意識し、職員の職務への責任や姿勢を見つめ直すとともに、引き続き一貫した「選択と集中」により、市民からお預かりしている貴重な財源を正しく使い、クリーンな市政運営を行うことで、市民の信頼を取り戻す年にしてまいります。

さらに、多発する地震や激甚化する風水害などに備え、減災に取り組み、安全・安心なまちづくりを目指すとともに、すべての市川市民とともに動物、植物に至るまでの生命を尊び、守り、次世代へつないでまいります。

そこで、令和7年度の予算編成にあたって、本市が取り組むべき3点の大きな柱を掲げます。

1点目は、住民サービスの向上です。

近隣自治体との広域連携を強化するとともに、市民をはじめとする地域で活動を行う多様な主体と手を取り合うことで、複雑化・多様化するニーズに寄り添い、市民の生活を充実させ、魅力あふれる元気なまちをつくります。

2点目は、脱炭素社会の実現です。

地球全体を生命と捉え、地球温暖化がもたらす災害などからすべての生命を守るとともに、地域新電力会社などを活用した脱炭素先行地域としての取り組みを進めることで、持続可能で安心・快適なまちをつくります。

3点目は、あらゆる格差の是正です。

教育・経済・情報など、あらゆる分野の格差を是正するため、子どもからゴールドシニアまで、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行うことで、誰一人取り残さないまちをつくります。

以上のことから、令和7年度の重点施策を次のとおり定めます。

重点施策

1. 住民サービスの向上

広域連携の強化

共通課題を持つ近隣自治体等と連携を強化することで、相互の発展を図るとともに、市民サービスや都市機能の向上・発展を目指します。

地域活動などへの支援

地域活動の中心的な担い手である自治会や NPO の支援を拡大し、協働によるまちづくりを進め、まちの活力を維持します。

地域経済の活性化

デジタル地域通貨「ICHICO」による市内経済の循環や、事業者への起業・経営支援に取り組むとともに、農業・水産業の振興を支援し、地域経済の更なる活性化を図ります。

情報発信の充実

常に市民の目線に立ち、タイムリーで分かりやすい情報発信を心がけるとともに、親善大使や観光大使にご協力いただきながら本市の魅力を広く発信していきます。

また、誰もがまちづくりに参画できる環境づくりを進め、市政への信頼と関心を醸成します。

スポーツや文化・芸術によるまちの活性化

スポーツに熱中できる環境を充実させるとともに、子どもたちが夢や希望を抱くきっかけとなるようなトップアスリートとの交流の機会を創出し、スポーツの力で更なるまちの活性化と健康の増進に取り組みます。

文化・芸術に身近に触れる機会の拡充や次世代の担い手の育成に取り組むとともに、政治の中心地であった下総国府など価値ある歴史や文化財の魅力を発信することで、「文化のまち」を未来に引き継いでいきます。

2. 脱炭素社会の実現

カーボンニュートラルの推進

家庭や事業所、学校法人等における省エネ・創エネを促進するとともに、地域新電力会社が供給する環境価値の高い電力を市域へ還元し、カーボンニュートラルの実現を目指します。

クリーンセンターの整備とごみの減量・資源化

将来にわたって安定的な廃棄物処理を継続していくため、クリーンセンターの建設を着実に進めるとともに、ごみの減量や再資源化を促進します。

防災力・防犯力の向上

激甚化している災害への備えとして、避難所環境の整備を進めるほか、地域防災力を向上させるため、防災訓練を拡充します。

また、地域の防犯対策の強化、管理不全の空き家の利活用などにより、安全・安心に暮らすことができるまちを目指します。

里山・里海の保全と活用

北部に残る自生植物やホタル、湧水源などの里山の風景を、大切に後世につないでまいります。

また、江戸川や真間川などの水辺を活用したまちづくりを進めるとともに、かつての里海で見られた原風景の再現を目指し、南部に広がる三番瀬の本来の環境を取り戻し、市民が海に直接触れられる干潟の再生を進めます。

都市基盤の計画的な整備

都市計画道路や公共下水道など市民の生活を支える都市基盤の計画的な整備を進め、まちの安全性と快適性を向上します。

また、老朽化が進む公共施設を適切に維持管理するとともに、市民ニーズを踏まえたうえで、環境に配慮した公共施設を、将来を見据え計画的に整備していきます。

3. あらゆる格差の是正

安心して子育てできる環境の整備

切れ目のない子育てサポートや子育て世代の定住促進に取り組むとともに、特別な支援を要する子どもや経済的に不安を抱える家庭への支援を通じて、すべての子どもたちが自分らしく心豊かに成長できる環境をつくります。

教育・学習環境の充実

それぞれの地域特性を生かした学びなど、各学校の創意工夫に富んだ自主性のある取り組みを応援していくとともに、市内全体の学力の向上と教育環境の整備に努め、教育の質を高めます。

また、市民が自分らしく輝くために誰もが学び続ける機会を創出します。

健康づくりの推進

誰もがいつまでも健やかで心豊かに生活できるよう、「健康寿命日本一」に向けた施策を拡充します。

福祉の充実・担い手の確保

福祉サービスの充実や担い手の確保に取り組み、高齢者や障がい者、生活にお困りの方などが包括的な支援体制のもと地域で安心して生活が送れる社会をつくります。

多様性社会の実現と平和意識の高揚

すべての人が自分らしく安心して豊かに暮らせる多様性社会の実現に向けて、理解促進や意識醸成を図ります。

また、令和7年度は終戦から80年の節目を迎えることから、平和の大切さと生命の尊さを改めて後世に伝えていきます。